

大震災・原発過酷事故から丸 4 年

3.11 を忘れない東海イレブンアクションに参加

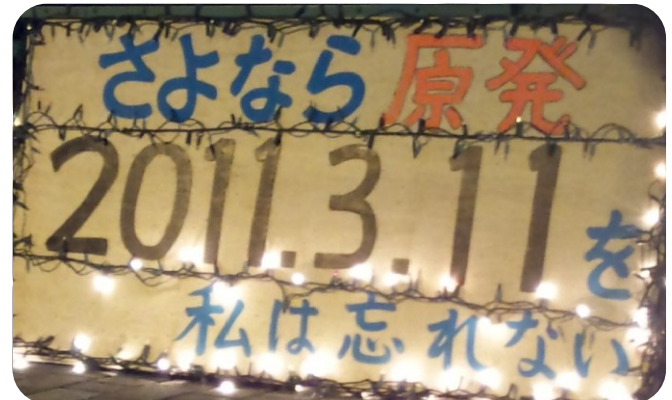
行動参加呼びかけのチラシから

あの日から 4 度目の 3 月 11 日
魂たちは何をみたのだろうか
遊びを知らない子どもたちか
帰る場所をなくしたおとなたちか
省みることを忘れた為政者たちか

あの日から 4 度目の 3 月 11 日
この悲しみはいつ癒されるのだろうか
忘れた夢はいつ思い出せるのだろうか
汚された大地はいつ蘇るのだろうか
失った故郷はいつ取戻せるのだろうか

あの日から 4 度目の 3 月 11 日
流れる雲、穏やかな海、春待つ大地
何も変わっていない
何も始まっていない
何も終わっていない

あの日から 4 度目の 3 月 11 日
私たちは何をすればいいのだろうか・・・



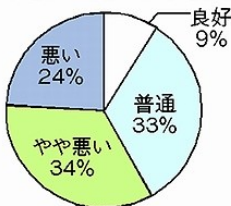
3 月 11 日、18 時から、東海駅東口で「3.11 を忘れない東海イレブンアクション（毎月 11 日行動）」が行われ、参加しました。

4 年たった今も、12 万人余が避難生活を余儀なくされています。事故原発は、被害を拡大し収束できません。原発事故の悲惨さが目の前にあります。

安倍首相は、この現実をどう見ているのでしょうか。ドイツの記者から「なぜ、再稼動なのか」と問われ、「世界一厳しい安全審査に合格した原発は、再稼動する。国民に低廉で安定的なエネルギーを提供するため。これが日本経済にも寄与するから」と、応えました。日本国民の気持ちとは、まるで逆行です。

アクション参加者は、4 年たった現実から、「原発依存はただちにやめよう」と、思い思いの気持ちを、マイクを伝って訴えました。

避難生活が長期化していますが、心身の健康状態はいかがですか



仮設住宅などを出て次の住まい(自宅や復興公営住宅など)に移れるまで、あとどのくらいかかりそうですか



原発いらない!

